（様式 2）
議事録番号

提出　2022 年　4 月　11 日

# 会合議事録

研究会名：ナノスピントロニクス研究会
日　　時：2022 年 3 月 30 日
場　　所：オンライン
出席者：水口将輝 他
計 42 名

議題： 放射光がもたらすスピントロニクス研究の最前線

議事内容：
【プログラム】
大きな異常ホール効果を生み出す磁気八極子秩序の XMCD
東北大学　木俣 基
超短パルス放射光 X 線でみる強磁性・反強磁性体の光誘起磁気ダイナミクス
分子科学研究所　山本 航平
共鳴軟 X 線散乱による磁気テクスチャ観測
物質・材料研究機構　山崎 裕一

軟 X 線 RIXS によるホイスラー合金の電子状態
東北大学　梅津 理恵
Co/Fe 人工格子の磁歪と磁気量子数選択磁化曲線
群馬大学 櫻井 浩
先端光源で視る X 線磁気分光の展開
東京大学　松田 巌
ナノスピントロニクス研究に関連する動向と総合討論

【議事】
東北大学の木俣氏より、反強磁性体における巨大な異常ホール効果の発見と、

その要因となる磁気八極子秩序について、最近の研究の進展が報告された。分子科学研究所の山本氏より、超短パルス放射光 X 線で調べた強磁性・反強磁性体の光誘起磁気ダイナミクスに関する結果が報告された。物質・材料研究機構の山崎氏より、共鳴軟 X 線散乱法により観測した磁気テクスチャ構造の実験結果に関して報告された。東北大学の梅津氏より、軟 X 線 RIXS 法により明らかにしたにホイスラー合金の電子状態についての最近の研究の進展が報告された。群馬大学の櫻井氏より、Co/Fe 人工格子の磁歪と磁気量子数選択磁化曲線の相関に関する結果が報告された。東京大学の松田氏より、先端光源で視る X 線磁気分光の新展開と今後の展望ついて報告された。その後、参加者によりナノスピントロニクス研究に関連する動向について総合討論が行われた。最後に、ナノスピントロニクス研究会代表の水口氏より、研究会が締めくくられた。